

2013 年度 小委員会活動成果報告

(2014 年 1 月 22 日作成)

小委員会名	山留め設計施工指針改定準備小委員会	主 査 名：桂 豊 就任年月：2011 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (仮設構造運営委員会)	委員長名：緑川光正 主 査 名：佐藤秀人
設 置 期 間	2011 年 4 月 ～ 2014 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	初年度：『山留め設計施工指針』(2002) 課題の抽出と整理。『近接山留めの手引き(仮称)』の骨子作成。WG の計画作成 2 年度：指針課題の具体的検討。『近接山留めの手引き(仮称)』の内容検討 3 年度：指針改定の方向性、盛り込む内容のまとめ、『近接山留めの手引き(仮称)』の原案作成	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無	
	主査：桂豊(清水建設) 幹事：青木雅路(竹中工務店)、石井雄輔(大林組) 委員：石丸達朗(戸田建設)、岩田暁洋(大成建設)、佐竹啓一(ジェコス)、實松俊明(鹿島建設)、清水孝昭(竹中工務店)、田村修次(京大)、野田和政(前田建設工業)、平出務(建築研究所)、元井康雄(大林組)、堀田洋之(清水建設)、山下俊英(前田建設工業)	
設置 WG (WG 名：目的)	①近接山留めの手引きWG；『近接山留めの手引き(仮称)』原案の取りまとめ ②山留め指針構成検討WG；目次の構成検討。計画・設計・施工の系統立てた課題整理 ③山留め特殊問題検討WG；特殊問題として指針に盛り込むべき事項の検討。特に、山留め解析上の課題深掘りと梁バネモデル・FEM における対応策検討	
2013 年度予算	110,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	7 回
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 『近接山留め手引き(仮称)』原案作成。小委員会査読中(100%) 2. 山留め指針(2002)改定目次検討。新指針追加項目の具体的内容検討(100%) 3. 山留め設計法の深掘りすべき課題検討。新指針とり込み事項抽出(100%)
委員会活動の問題点・課題	1. なし